



神戸 YWCA 被災者支援プロジェクト

# ひと冬のセカンドハウス ご協力ありがとうございました！

2011年12月～2012年1月

神戸 YWCA はこの冬も、会員および関係者の方々から家屋のご提供をいただき、福島からのご家族をお迎えしてセカンドハウス・プログラムを行う事ができました。ご協力くださった全ての方々から感謝をいたします！

## ■ 尼崎、西明石に加え、山梨県の住宅もお貸し出し いただきました！

この冬は、尼崎へ福島市の四人家族（11日間滞在）が、西明石へは南相馬市の五人家族（1週間滞在）がいらしてくださいました。山梨は、今回は残念ながら利用者がおられませんでした。自然あふれる素晴らしい環境の中にあるお宅ですので、次（春）には是非ご利用いただけたらと願っています。また京都 YWCA のセカンドハウスを利用したご家族が神戸 YWCA を訪問。その際にも神戸 Y の会員のお一人が住宅提供くださいました。



セカンドハウスの準備中。多くの方々から布団やもうふ、電気湯たんぽなどの提供もいただきました！感謝。

## ■ 疲労困憊する福島のご家族

今回いらっしゃったご家族は共に、お子様方を福島県会津の祖父母宅に預けての二重生活を続けておられます。福島市、南相馬市共に、年間では1ミリシーベルトを超える空間線量地域のため、特に子どもたちの内部被曝を警戒してのことです（福島市は0.9、南相馬市は0.5、会津若松市は0.1以下\*単位はマイクロシーベルト/h）。しかし二重生活を続けてきた疲労、経済的負担、家族間の意見の相違や迷いから、身体的・精神的にも、とても疲れておられると感じました。

## ■ 「自分の家」のようにゆったりゆっくりと

もうひとつの自分の家のようにゆっくり過ごしていただく…それが YWCA のセカンドハウスです。到着後は、歓迎会以外はご家族だけでゆったりお過ごしいただきました。ただ一日だけ、両家族揃ってのお正月の京都見物にご一緒しました。まごの手メンバーで、京都はお任せの島村正さんの案内で、北野天満宮、金閣寺、龍安寺、錦市場などを楽しみました。



お正月の京都観光（上：龍安寺 下：北野天満宮）。この日の京都は雪。でも福島のご家族は「こんなのまだまだ暖かいですよー」。さすが東北人！

## ■まだ何も終わっていない、福島のご家族の闘い

1月8日（日）両家族ともに福島へ戻って行かれました。

「家族一緒にこんなに長く過ごしたのは、震災以来はじめてです」。南相馬のお父様のことばです。

「一番良かった時間は武庫川の土手の1時間。ただ座ったり、歩いたりしただけの1時間。ランナーがたまに通り過ぎて、帰り際にカモメが飛んできただけの1時間。ただの土手。ただの草」。福島市のお父様のWitterでのつぶやきです。

福島の方々の悩みと苦闘は深まるばかり。私たちは福島を忘れず、たとえ小さくともたゆまず、福島の方々と共に歩み続けたいです。



福島のお父さんが撮った武庫川の「ふつう」の土手

## ■ ご協力くださった全ての方々に心から感謝します！

セカンドハウスをご提供くださった方々、お布団提供をくださった方々、セカンドハウスまでお布団を運んでくださった方々、京都観光のために案内および情報収集、お店アドバイスなどでご協力くださった全ての方々、歓迎会に参加してくれた方々、そして祈りと献金で支えてくださった方々…。皆さんがおられなければセカンドハウスは実現しませんでした。本当にありがとうございました！！

**次は春のセカンドハウスです。住宅提供、お布団提供、運搬、その他もろもろ、どんなことでも結構です。関心のある方がおられましたら、どうぞ担当者までご連絡ください！（担当：西本）**



お布団協力隊のおひとり「フリーヘルプ」の西本さん。フリーヘルプはリサイクル形式の自立支援ショップ。布団貸出しのみならず運搬にも協力いただきました。



おふとん運びでは神戸YWCA 分室号、会員の西岡さん号も大活躍しました！写真は運転してくださった山内さんと分室号。

神戸YWCA（被災者支援プロジェクト）担当：西本([nishimoto@kobe.ywca.or.jp](mailto:nishimoto@kobe.ywca.or.jp))  
〒651-0093 兵庫県神戸市中央区二宮町 1-12-10 TEL:078-231-6201  
募金の送り先は...郵便振替 口座番号：01100-0-10298 神戸基督教女子青年会